

**福島第二原子力発電所 プラント状況等のお知らせ**  
(9月28日 午後3時現在)

平成23年9月28日  
東京電力株式会社  
福島第二原子力発電所

平成23年3月11日、当社・福島第二原子力発電所1～4号機（沸騰水型、定格出力110万キロワット）は、定格熱出力一定運転中のところ、東北地方太平洋沖地震により、午後2時48分、原子炉が自動停止しました。  
(3月11日 お知らせ済み)

3月15日午前7時15分、4号機の原子炉が冷温停止状態となり、これにより当所の全号機（1～4号機）が冷温停止となりました。  
(3月15日 お知らせ済み)

9月28日午後3時現在、1～4号機は冷温停止中です（各号機の状況は別表参照）。引き続き、各号機の冷温停止状態のより一層の安定化に努めてまいります。

- ・新規事項はありません。
- ・次回のお知らせは、明日の午後3時を予定しております。

以 上

東京電力 福島第二原子力発電所 プラント状況 (平成23年9月28日 午後3時現在)

別表

|                             | 1号機  | 2号機   | 3号機  | 4号機   |
|-----------------------------|--|---|--|---|
| 原子炉停止機能<br>(止める)            | ○原子炉自動停止 (3/11 14:48)<br>○全制御棒全挿入中   | ○原子炉自動停止 (3/11 14:48)<br>○全制御棒全挿入中  | ○原子炉自動停止 (3/11 14:48)<br>○全制御棒全挿入中   | ○原子炉自動停止 (3/11 14:48)<br>○全制御棒全挿入中  |
| 原子炉注水・除熱機能<br>(冷やす)         | ○残留熱除去系 (B) 運転<br>※残留熱除去系 (A) は復旧作業中<br><br>○原子炉冷却材浄化系運転 (7/16～)<br>[冷温停止時における代替除熱機能の確保]<br><br>○冷温停止*中 (3/14～)  | ○残留熱除去系 (A) 運転<br>※残留熱除去系 (B) は、待機状態<br><br>○原子炉冷却材浄化系運転 (7/17～)<br>[冷温停止時における代替除熱機能の確保]<br><br>○冷温停止*中 (3/14～) | ○残留熱除去系 (B) 運転<br>※残留熱除去系 (A) は待機状態<br><br>○原子炉冷却材浄化系運転 (6/6～)<br>[冷温停止時における代替除熱機能の確保]<br><br>○冷温停止*中 (3/12～)  | ○残留熱除去系 (A) 運転<br>※残留熱除去系 (B) は待機状態<br><br>○原子炉冷却材浄化系運転 (6/4～)<br>[冷温停止時における代替除熱機能の確保]<br><br>○冷温停止*中 (3/15～) |
| 格納容器 (隔離・除熱)<br>(冷やす&閉じこめる) | ○格納容器内での冷却材漏えいなし<br><br>○圧力抑制室の水温は通常温度(30℃程度)で安定 (3/14、100℃未滿復帰)<br><br>○格納容器バント (格納容器内の圧力を降下させる措置) は実施なし  | ○格納容器内での冷却材漏えいなし<br><br>○圧力抑制室の水温は通常温度(30℃程度)で安定 (3/14、100℃未滿復帰)<br><br>○格納容器バント (格納容器内の圧力を降下させる措置) は実施なし       | ○格納容器内での冷却材漏えいなし<br><br>○圧力抑制室の水温は通常温度(30℃程度)で安定 (地震発生以前から継続して100℃未滿)<br><br>○格納容器バント (格納容器内の圧力を降下させる措置) は実施なし | ○格納容器内での冷却材漏えいなし<br><br>○圧力抑制室の水温は通常温度(30℃程度)で安定 (3/15、100℃未滿復帰)<br><br>○格納容器バント (格納容器内の圧力を降下させる措置) は実施なし     |
| 外部電源                        | 受電有  | 受電有   | 受電有  | 受電有   |
| 非常用電源                       | 非常用ディーゼル発電機(B)<br>2号機非常用ディーゼル発電機(A)(B)から受電   | 非常用ディーゼル発電機(A)(B)   | 非常用ディーゼル発電機(A)(B)(H)   | 非常用ディーゼル発電機(A)(B)(H)  |
| その他<br>異常等に関する報告            | ○3/11 17:35 原災法第10条特定事象 (原子炉冷却材漏えい (格納容器圧力上昇))<br>→3/11 18:33 原子炉冷却材漏えいはなかったものと判断  |   |  |   |
|                             | ○3/11 18:33 原災法第10条特定事象 (原子炉除熱機能喪失)<br>→3/14 1:24 残留熱除去系 (B) 起動により復帰   | ○3/11 18:33 原災法第10条特定事象 (原子炉除熱機能喪失)<br>→3/14 7:13 残留熱除去系 (B) 起動により復帰  |  | ○3/11 18:33 原災法第10条特定事象 (原子炉除熱機能喪失)<br>→3/14 15:42 残留熱除去系 (B) 起動により復帰   |
|                             | ○3/12 5:22 原災法第15条「原子力緊急事態」該当事象 (圧力抑制機能喪失)<br>→3/14 10:15 圧力抑制室の水温が100℃未滿となり復帰   | ○3/12 5:32 原災法第15条「原子力緊急事態」該当事象 (圧力抑制機能喪失)<br>→3/14 15:52 圧力抑制室の水温が100℃未滿となり復帰                                  |  | ○3/12 6:07 原災法第15条「原子力緊急事態」該当事象 (圧力抑制機能喪失)<br>→3/15 7:15 圧力抑制室の水温が100℃未滿となり復帰                                 |
|                             | ○原災法第10条特定事象 (敷地境界放射線量上昇 [5μSv/h]) 3/14 22:07 (モニタリングポスト [1])、3/15 0:12 (モニタリングポスト [3])<br>…福島第一原子力発電所の影響による。<br>→4/3 9:30以降、福島第二原子力発電所敷地境界における放射線量 (モニタリングポストの値) は5μSv/hを下回って推移。<br>〈参考〉当社ホームページ：モニタリングによる計測状況：http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/f2/index-j.html |   |  |   |

\*：冷温停止・・・原子炉水の温度が100℃未滿となり安定的に停止した状態。